

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	大村市農林水産まつり事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	大村市	農業水産課	原口 辰男	0957-53-4111(252)
事業期間	開始年	平成27年 9月 1日 (2年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[ ]			
実施期間	(開始日)平成28年 月 日 (完了日)平成29年 2月 3日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	長崎県央農業協同組合		木下 政博	0957-54-8010
	(委託内容) 大村市農林水産まつりの開催			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	市内外在住者		農林水産物の収穫が豊富な11月27日に大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」を開催し、地元農林水産物のPR及び消費拡大を図った。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	長崎県央農業協同組合大村中央支店周辺で大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」を開催し、大村の食材をその場で食べて・見て学ぶことを通じて、広く大村市民の皆様は大村産の農林水産物の魅力を情報発信し、消費者と生産者との交流を深めるとともに消費拡大を目指し、活力ある「おおむらの農林水産業」の発展につなげる。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 地元農林水産物のPR及び消費拡大を図るため、大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」を開催する。			
	(経緯・現状) 平成26年までは、おおむら秋まつりと合同で開催(10月)していたが、平成27年度から農林水産物が豊富な11月下旬に大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」として開催している。			

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）			1,200,000	1,200,000				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金		600,000	600,000				
	一般財源		600,000	600,000				
成果（活動）指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	イベント数	出店ブース+プログラム数		目標		11	20
					実績		16	39
					目標達成率（%）		145	195
	②	来場者数			目標		10,000	10,000
					実績		10,000	10,000
					目標達成率（%）		100	100

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）公共性評価		<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>必需（+）</p> <p>私益（-）      公益（+）</p> <p>選択（-）</p> </div> </div>
	<p>（公益性）</p> <p><input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス</p> <p><input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス</p>	<p>（必需性）</p> <p><input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス</p> <p><input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス</p>	
	（2）行政関与の妥当性評価		（3）廃止又は休止した場合の影響
	<p>妥当性低い                      妥当性高い</p> <p style="text-align: center;">（-）                      0                      （+）</p> <div style="text-align: center;"> </div>		<p>（影響内容、程度等）</p> <p>安全・安心な大村産の農畜産物・魚介類をとおとしての消費者と生産者との交流の場がなくなり、市内外の皆さんへの農林水産物の魅力を情報発信することができなくなる。</p>

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		出店については、青年農業者、青年部、女性部及び物産協会等からの出店、イベントについては、青年部、地元グループ等の出演があり、雨模様の天候ではあったが目標としていた数値を達成することができた。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 次回の開催に向け、反省点を協議し改善につなげる。		
実施予定 期 日	H29. 11			
有効性の点検	(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
	<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はない		・ おおむら秋まつり ・ 開催が10月中旬で農産物の少ない時期である。	
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		J A、青年部、女性部及び関係機関等でまつりの運営が行われている。	
(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		総事業費の一部を定額助成している。J A負担あり。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民間	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	■ 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	・ 平成 29 年 11 月 26 日(日) ・ 大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」を開催し、大村の食材をその場で食べて・見て学ぶことを通じて、広く大村市民の皆様は大村産の農林水産物の魅力を情報発信し、消費者と生産者との交流を深めるとともに消費拡大を目指し、活力ある「おおむらの農林水産業」の発展につなげる。				